

環境保全行動 報告提出書  
自動車使用管理実施

2023 年 4 月 28 日

(宛先) 札幌市長

提出者 住所	〒006-0001 札幌市手稲区西宮の沢1条4丁目14番35号
氏名	医療法人 札幌宮の沢病院
(代表者名)	理事長 田中 正巳
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	

札幌市生活環境の確保に関する条例 第13条第4項 の規定により、環境保全行動  
第23条第3項 自動車使用管理実施  
報告書を提出します。

報告期間	2022年4月1日 ~		2023年3月31日			
事業の規模	従業員数	258	人	原油換算した 燃料・熱・電気の合計量	395.3	kl
	使用床面積	8348.306	m <sup>2</sup>			
	事業所数	1	事業所	自動車使用台数	8	台
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素 換算排出量)	エネルギー起源CO <sub>2</sub>	997	t-CO <sub>2</sub>	N <sub>2</sub> O	
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>			t-CO <sub>2</sub>	SF <sub>6</sub>		t-CO <sub>2</sub>
報告書の担当部署	担当部署名					
	担当者氏名					
	電話/FAX					
	電子メールアドレス					
計画書提出根拠	条例第13条(環境保全行動計画)	<input checked="" type="checkbox"/> 第1項 <input type="checkbox"/> 第3項				
	条例第23条(自動車使用管理計画)	<input type="checkbox"/> 第1項 <input checked="" type="checkbox"/> 第2項				
計画期間	2022年4月1日 ~		2025年3月31日			
環境保全行動 自動車使用管理実施 報告書	別添のとおり					
備考						

- 注 1 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、報告に係る年度の3月31日現在で記入してください。
- 2 事業所数は、報告年度に係る年度の3月31日現在の札幌市内事業所数を記入してください。
- 3 燃料・熱・電気の合計量は、報告に係る年度に使用した量を原油換算して記入してください。
- 4 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則第4条に規定する方法により行ってください。
- 5 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第5項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。
- 6 □のある欄には、該当する□内にレ印を記入してください。
- 備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動報告書  
自動車使用管理実施報告書

1 行動目標の達成状況

【計画期間】

2022年4月1日～ 2025年3月31日

【報告期間】

2022年4月1日～ 2023年3月31日

行動目標	基準数値	目標削減率	2022年度結果			2023年度結果			2024年度結果		
			実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果
二酸化炭素排出量の削減	1000 t	2 %	973 t	3 %	○						
自動車の使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	30.7 t	2 %	24.1 t	21 %	○						
紙使用量の削減	1847.3 kg	5 %	1969.8 kg	▲7 %	×						
水使用量の削減(市水)	23667 m <sup>3</sup>	5 %	22939 m <sup>3</sup>	3 %	△						
		%		%							
		%		%							

注 1 実績数値が基準数値よりも増加した場合は、削減率の数値の前に▲を記入してください。

2 結果の欄には、以下のいずれかを記入してください。

○：目標削減率を達成

△：実績数値が基準数値よりも削減されたが、目標削減率は未達成

×：実績数値が基準数値よりも増加

2 行動目標達成・未達成の理由

行動目標	結果	理由
二酸化炭素排出量の削減	○	暖房ボイラーの使用回数が、例年より少なかった為。
自動車の使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	○	冬季間の除雪回数が削減され、燃料の使用量が減少。
紙使用量の削減	×	コロナクラスター対応による、紙資料の増加と郵便物による連絡が増加の為。
水使用量の削減(市水)	△	入浴回数が、コロナの対応で減ったこともあり使用量が減少。